（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援マルコ			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年 9月 18日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	5名（兄弟児　１組）
○従業者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年 9月 18日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広い敷地と静かな環境 ・事業所の周囲の環境も良い ・ホーススイング・トランポリン・広い園庭があることで、体力・運動機能の向上・気分の発散も出来る	・豊かな自然環境を活かし、気候が良い時には散歩や戸外遊びの機会を多く作る。 ・遊具を使うとき・友達と共同で使用する時のマナーや危険を避けるためのルールを守れるようにする。 ・一人一人の発達段階や特性に応じて難易度を調整し、運動機能の向上に繋げる。	・近隣の方とは挨拶などを通して触れ合うようにする。 ・小動物・昆虫などに触れられるように観察箱・虫取り網など備品を整理しておく。 ・友達と共同で使用する機会を多くし、社会性を身に付ける。 ・職員間での児童の成長を共有し、個々に適した支援方法を検討していく。
2	・大学の教授による継続したスーパービジョンを定期的に受講している。	・研修内容等により、参加する職員を決めている。職員全員の資質向上に向けて、終了後は、伝達講師で職員全体に共有している。	・多くの職員が参加し、他部署の方々との交流・新しい視点での見とる力が養って行けるよう今後も資質向上に向けて受講していく。
3	・高齢者の方や他部署職員の方々・学童保育のこどもたちと挨拶を交わしたり触れ合うことで、思いやりを育める。	・事業所内での交流の機会を作り、マナーやルールを知り身に付けるようにする。（季節の行事・音楽の交流）	・触れ合ったり言葉を交わすきっかけとなるよう積極的に挨拶するをするよう心がける。お互いを認め合う関係性を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・療育における職員の経験・学び知識（年数）	・研修の機会があっても、距離が遠かったり、時間帯の関係で皆が受ける機会が少ない。	・職員各自の学びを増やしたり、経験を伝えあい共有する。 ・自己研鑽をつむ
2	・個室が少ない		・今あるスペースを目的によって時間差で使用する。
3	・地域交流	・衝動性のある子や環境の変化に弱い子などこどもの状況等を考えると難しい点が多く、機会が少ない	・地域の行事など情報収集を行い、参加出来る機会を増やしていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援マルコ

公表日　2026 年　11 月　12 日

利用児童数　6名（兄弟児１組）　回収数　5名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				屋外の活動スペースもあり、様々な活動が出来ていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			1	生活空間に入る機会がありませんが、見学に行った際、とても清潔にされていたと思います。	こどもたちが心地よく過ごせるような環境づくりに努めていきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1				こどもの成長に適した支援を行っていけるよう、関係機関と連携してスーパーバイズ等を受けながらより良い支援を行っていきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	3			2		定期的に見直しを行っていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				様々な内容のプログラムを毎月計画して下さっています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4			1		保育園や幼稚園と併用されている児童が多い為、地域のこどもたちと交流する機会はないが、長期休暇等は児童館を利用・イベントの参加等を活動に取り入れていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		2		ペアレントトレーニングは行っていないが、研修などの案内があった際は情報提供行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5				毎回の連絡帳と月１回報告を受けています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	2		時期やタイミングを見て、保護者会・兄弟児も参加できるような企画を予定していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5				毎月のマルコだより楽しみにしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	4			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1			今までに事故や怪我などを発生したことがありません。	今後も体調不良など変化があった際は、電話連絡を速やかに行い、連携を図って行きたいと思います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	5					こどもたちが安心して通園出来るよう環境づくりに今後も取り組んでいきたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5				毎回楽しみにしていて行くのを嫌だと言ったことは一度もありません。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					いつもご利用ありがとうございます。これからも皆さんに満足して頂けるような事業所を目指し精進してまいりたいと思います。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援マルコ

公表日　2026 年 11 月 12 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		長期休暇中は、児童の様子などから法人内での空きスペース（部屋）を借りて活動を行う等、安全に活動が進められるような環境作りを行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			活動によって適切に使われているか、再度見直す必要はあります。また、児童に対して分かりやすくボード等は整理していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日建物内の片付け・清掃・消毒などを行い、心地よく過ごせるような環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		児童の状況に応じて個室は使用出来る環境になっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	パート職員がいたりと、全員が一緒に会議をする機会は少ないが、多くの職員の意見なども聞いて振り返りに繋げられるよう、書面上での振り返り等も行っています。	終礼時のミーティングなどを活用しながら、皆からアイデアや意見が出しやすいような環境（雰囲気）作り・皆が参画しやすい小さな課題から取り組んで行きたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		送迎等も含め、日頃から保護者との信頼関係の構築に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎週、毎月事業所内での会議を設け、常により良い方向へ業務改善出来るように努めています。	皆から活発な意見が出されるよう、風通しの良い職場を目指していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修案内があった際は、職員に周知・参加出来る環境を作っています。また、研修を受けた職員は伝達講師を行うなど職員全体の資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		いずみの園HP（各事業所重要事項説明書）に公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		利用開始時や更新の際にはアセスメントを行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員会議等でモニタリングや担当者会議での内容・子どもの状況などを意見交換し、情報共有を図っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		5領域に沿い、個別の状況や季節を考慮した内容となっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			職員全員が把握できていないこともある為、朝礼時のミーティングを活用して、全員が同じ思いで支援に携われるよう工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		終礼時のミーティングでその日の気づきやその日の様子など意見を出し合い情報共有は行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			記録は日々行っているが、支援の検証まで深く行えていない為、皆が気づきを共有し、日々の支援がより良くなるよう話し合いの時間等を作って行ければと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		ケース会議等で検証。出された意見などを踏まえて、見直し、計画作成を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議など、児発管に加え、現場をよりよく理解した職員も参加するようにしています。（時間帯で参加が難しい時もある為、事前に様子をまとめてくれています。）	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		併用利用している児童には、保護者に確認を取ったうえで、日頃の様子や支援内容等について、情報共有を積極的に行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			必要に応じて就学前に担当者会議などを行い情報共有できる児童もいれば、全く情報が届かない児童もいる為、スムーズに移行できるよう情報提供に務めて行きたいと思います。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6		研修参加や訓練の様子について見学・助言などを頂けるよう積極的に連携を図っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		保育園や幼稚園と併用されている児童が多い為、地域の子供たちと交流する機会はないが、長期休暇等は児童館を利用・イベントの参加等を活動に取り入れています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時に保護者の方にこどもの状況等をお伝えし共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		ペアレントトレーニングは行っていないが、研修などの案内があった際には、家族に向けて情報提供を行っていきます。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		時期やタイミングを見て、保護者会・兄弟児も参加できるような企画を予定していきたいと思います。

の説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月の行事予定や「マルコ新聞」にて児童の日ごろの様子を掲載し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		日常の中で、地域住民の方々との交流はありますが、招待にまでは至っていません。交流出来る行事などを提供しているよう検討してきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	医師の指示書まではありませんが、契約時にアレルギーの確認・クッキングの際も材料等を保護者に提示し適宜確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置し、研修等を通して虐待についての知識を深めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1		今後も必要な際は、事前に説明を行い記載を行っていきます。